

# いづらき

第47号



2025年度

QCサークル関東支部 茨城地区

2025年度地区長会社 株式会社 日立ビルシステム

# 《 目 次 》

◆2025年度 活動計画	2
I 2025年度 QCサークル組織図	3
II 2025年度 ご挨拶	
地区長ご挨拶	茨城地区地区長 近内 竜也 4
世話人ご挨拶	茨城地区世話人 遊馬 一幸 5
III 2025年度 活動方針	
1. QCサークル本部・関東支部活動方針	6~7
2. QCサークル茨城地区活動方針	8
IV 2025年度 行事計画	
1. 年間行事	9
2. 各行事のご案内	10~11

■表紙写真  
随願寺(行方市)

# 2025 年度 活動計画

2025 年度活動スローガン

QC サークル活動(小集団改善活動)で  
小さな一歩を踏み出し、  
大きな自信への第一歩にしよう！

2025 年度 地区長会社  
株式会社 日立ビルシステム

# I 2025年度 QCサークル組織図



## II 2025 年度 ご挨拶

### 地区長あいさつ



QCサークル茨城地区  
2025年度 地区長  
株式会社 日立ビルシステム  
製造部長 近内 竜也

QCサークル茨城地区の幹事会社、会員会社の皆様、日頃より茨城地区の諸活動へのご理解とご支援を戴き、厚く御礼申し上げます。2025年度地区長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2024年度はQCサークル茨城地区結成50周年という大きな節目の年となり、周年記念大会が開催されるなど、特別な年でございました。地区長会社を務められました飯島様、薄井様、佐々木様、並びに日立建機関係者の皆様、大変お疲れ様でした。結成60周年に向けた新たな一年を任されるということで、とても身の引き締まる思いしております。茨城地区のQCサークル活動の活性化に向け努めて参りますので、何卒宜しくお願いたします。

さて、去年はウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊迫化、国内においては能登半島地震や物価高騰など、社会全体が不安定な状況に置かれた一年でございました。こうした厳しい社会情勢の中において、企業に求められる役割はますます大きくなり、品質の向上や業務の効率化、持続可能なものづくりへの取り組みがより一層求められる時代となってきております。そのような中、QCサークル活動は単なる業務改善に留まらず、一人ひとりが主体的に考え行動し、仲間と協力しながら職場をより良くするための取り組みとして、企業の成長を支える重要な役割を担っていることを改めて実感しております。

また、2025年度の地区スローガンを「QCサークル活動で小さな一歩を踏み出し、大きな自信への第一歩にしよう！」とし、活動を推進して参ります。日々の業務の中で、もっと良くしたい、少しでも改善したい、という前向きな思いを持ち、たとえ小さくとも積極的にチャレンジしていくことで職場の発展に繋げていこうという、メッセージが込められています。皆様の挑戦の積み重ねが職場の発展、ひいては皆様自身の成長や自信に繋がることを心から願っております。

最後になりますが、会員会社の皆様、積極的な地区活動への参加と、茨城地区の発展に向けたご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、今後の更なるご発展、ご家族の益々のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

<2025年度 地区スタッフ> よろしく申し上げます。



【幹事長】石橋和弥



【事務局】秋山香澄

## 世話人あいさつ



QC サークル茨城地区  
2025 年度 世話人  
元 ペンてる株式会社  
遊馬 一幸

昨年度は QC サークル茨城地区設立 50 周年の節目の年でしたが、記念行事をはじめ、大会や研修など、諸行事も盛況のうちに終えることができました。これも偏に幹事会社をはじめとした会員会社の皆様のご協力があったことと、感謝申し上げます。引き続き 2025 年度も皆様方のお力添えを頂きながら、この QC サークル茨城地区の運営に携わっていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

2025 年はコロナ禍の終焉は見えつつも、国内外とも大きな変化の兆しが出始めた年ようです。会員会社の皆様も何かとご苦勞の絶えない時期かと存じます。企業は“人”の集合体であります。このような時こそ、一人一人のレベルアップと全員の結束が求められる時でもあります。誰もが経験したことのなかったコロナ禍の 5 年間、皆様お一人お一人の工夫や努力で、それを克服して今に至っているかと存じます。当茨城地区でも研修会や事例発表会など前例のないような状況下での運営方法の苦勞や工夫が、今となっては“ノウハウ”あるいは“組織の知識”と言って良いようなものとして積み重なってきています。QC サークル茨城地区の各社各人の知恵を集めて、工夫を凝らしたことの成果であると思っております。大きな変化がありそうなこの 1 年、今まで培ってきた向上心、チームワーク、対応力……、これらをまた活かす時でもあります。そのような時にこの QC サークル茨城地区の活動が少しでもお役に立てれば幸甚でございます。

QC サークル茨城地区の良さは、各社の第一線で活躍されている皆様が集まることによって、それぞれの違った見方、考え方がある中で、これを決して否定することなく、建設的に融合しあって、お互いにももの見方、考え方の幅が広がる、ひいてはご参加頂いた皆様の人としての成長にもつながる、そんなところではないかと思います。決して机上の空論でない、現役世代の皆様の集まりだからなせることではないかと思います。

QC サークル茨城地区の運営には会員会社の皆様の最も貴重な資源である“時間”をお貸し頂きます。それだけの資源を投入しても幅広い形で得るものがある、参加してよかった、参加させてよかった、と思って頂けるような組織作りに今後も努力したいと思います。会員会社の皆さんにおかれましては、QC サークル茨城地区に対する変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

### Ⅲ 2025 度 活動方針

#### 1. 2025 度 本部・支部活動方針

<b>QCサークル活動の基本理念</b>
人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す。 人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場をつくる。 企業の体質改善・発展に寄与する。
<b>2025年度 QCサークル本部方針</b>
<b>QCサークル活動（小集団改善活動）により、日本産業全体の“仕事（業務）の品質/質”のダントツ化を図ろう！</b>
<b>【基本方針】</b>
1. QCサークルのリーダー・メンバーは、チームワークで仕事の達成感と自己成長を図る！（人間力） 2. リーダーは、より高い目標に挑戦するリーダーシップを発揮する！（仕事力） 3. 管理者・監督者は、QCサークル活動支援を職場マネジメントの主要事項として行う！（職場力） 4. 推進事務局は、全社一丸となったスピード感あふれる改善活動の活性化のために新しい施策を企画する！（組織力） 5. 経営者は、経営に資する全社TQM推進の一環としてのQCサークル活動（小集団改善活動）の強化を図る！（経営力） 6. 地域の企業・組織との連携を図る！“仲間づくり”
<b>【QCサークル本部2025年度重点取組事項】</b>
1. 本部・支部・地区の連携の更なる強化、支部・地区の柔軟な組織づくり、行事等運営方法の弾力化・合理化ができるよう、「QCサークル本部・支部規定」「支部・地区活動運営のしおり」等を見直す。 →「 <b>運営改革プロジェクト</b> 」答申を踏まえ、より柔軟で合理的な運営の実現のための検討を行い、合意を得られたものから実施する。 2. 情報セキュリティ（機密性、完全性、可用性）を担保したうえで、DXの考え方、ICTツールの活用により、本部・支部・地区の作業・事務工数を削減・効率化する。 → <b>現状把握（何に工数を要しているのか、その他の問題・課題等）を行った上で、その解決に向けて、全体的な仕組みの変更、新たなシステムの構築、必要に応じて規定、基準の見直しを行う。</b> 3. 支部・地区における行事（大会、研修会等）の運営等の負担を軽減するための支援を行う。 → <b>一般対象研修会の日科技連への移管、幹事研修の共通部分を日科技連が提供する等により、支部・地区の負担軽減につなげる。</b> 4. 本部（含む日科技連等）はじめ各支部・地区が保有している各種情報（含む方針・答申等）、ベストプラクティスを共有し、利活用できるようにする（情報交換システム[支部・地区運営自慢]等活用）。 → <b>情報共有システムを見直し、ライブラリー化（検索機能付き）を検討し、可及的速やかに実施する。</b> 5. 仲間を増やす活動に利活用できるよう、活動企業勧誘や組織拡大に役立つ企業情報を個人情報保護法並びに情報セキュリティに則って収集し管理する。 → <b>情報収集・利活用のシステムを見直し、D/B化を推進する。</b> 6. 本部主催大会及び研修等（含む日科技連主催行事）を、計画的に、目づ、仲間を増やす観点で、効果的に開催する。 → <b>全国大会（5大会）、JHSグランドチャンピオン大会、全日本選抜大会、洋上大学を計画的に開催し、効果を高めていく。</b> 7. 活動環境の変化（コト価値、就業構造変化、2024年問題への対応など）に対応し、活動方法を柔軟に、多様化して、活動の入り口を広げて普及拡大につなげ、活動自体もやりやすくして活性化をめざす。 → <b>大会等を含めて、入りやすく、活動しやすく、参加しやすい活動、行事等にするための工夫を行う。</b> 8. 支部と連携して、事務・販売・サービス部門[含む医療、福祉]や小規模企業への普及拡大と活動の促進をめざして、入り口の入りやすさと活動基盤の構築につながる働きかけの検討を継続する。 → <b>JHS-WG答申、「運営改革プロジェクト」答申に即して、提言の具体化に注力する。</b>
<b>【支部・地区における基本的な取り組み例】</b>
<b>1.支部・地区の運営</b>
(1) 支部・地区業務の工夫
1) 支部・地区の役員・幹事等については、各支部・地区、会員企業・組織等の事情等に応じて、これまでも弾力的な取扱い等を行って、柔軟な役割分担や任期の設定等により負荷を軽減しながら必要な体制を維持している支部・地区がある。また、地域の経済や社会基盤を支える中堅企業や医療・福祉・教育分野等の企業に対し、エリア（ブロック）幹事会社制度を設けて参加・協力要請を行い、活動企業の裾野を広げている支部・地区がある。ついては、引き続き、各支部・地区の事情等に応じて多様な工夫等を行うとともに、必要に応じて本部と連携する（必要に応じて、本部・支部規定の見直し等が必要になることも想定）。
2) 支部長会社・地区長会社、幹事会社等の負担軽減のために、情報セキュリティ（機密性、完全性、可用性）を担保したうえで、DXの考え方、ICT活用を前提に、必要に応じて本部と連携、協議して、業務の効率化、組織運営や行事等運営の合理化を図る。（本部・支部規定、情報交換システム等の運用基準の見直しが必要になる場合も想定）
(2) 行事運営の工夫
1) 地域の生活を支える医療・福祉団体、流通業界などと連携し、エッセンシャルワーカーをはじめ、業種・業態・組織規模などによって長時間に亘り職場を離れにくい方々の、大会での発表・聴講、研修等への誘引を図るためのオンラインシステム活用などを進める。
2) 大会等において、発表者、聴講者の参加形態の多様化、弾力化を図り、参加率を向上させるために、会場参加はもちろん、ニューノーマル化にも対応し、オンライン、ハイブリッド開催、オンデマンド配信等を含めて、大会等のあり方（目的・効果、企画・運営等）を工夫する。
3) 発表会・研修・フォーラム等（含む講演会など）に、広く、地域等を越えて参加いただけるよう、ICTやオンラインツールを活用した企画・運営を工夫する。
<b>2.仲間づくり</b>
(1) 行政・経営層等への働きかけ
1) 地域の行政（公務）や教育機関、経営者協会等の経済団体、業界団体などに働きかけて、地域の特色を生かした発表会や行事、経営者・管理者向けフォーラム、コミュニティの開催などにより、QCサークル活動（小集団改善活動）が経営成果、人材育成などにつながることへの理解活動を展開し、QCサークル活動（小集団改善活動）の普及拡大・活発化へ向けて継続的な取り組みを行う。
2) 本部と分担あるいは連携して、企業・組織の本社機構、経済団体、業界団体などへの働きかけにより、普及拡大、活動への参加促進の取り組みを行う。

- (2) JHS（医療・福祉含む）への働きかけ  
サービス業務（事務・間接・医療・福祉など）を中心とした組織に適した、多様で新しいやり方を取り入れ、参加意欲を促進する具体的な方法・ツールを開発・提案して、普及拡大、活動促進に取り組む（内容に応じて、本部と連携）。
- (注) 事務・間接には、開発・設計、企画・営業業務を含み、サービス業務には、卸・小売業、運輸業、宿泊・飲食業、教育・研修等の業務も含む。
- (3) 小規模企業への働きかけ  
QCサークル本部にて展開（2015～17年）した「小規模企業へのQCサークル活動（小集団改善活動）の導入・支援活動」資料（運用ガイドほか参考情報を情報交換システム「活動企業・組織の拡大～仲間を増やす活動～」フォルダーに格納済み）を活用し、QCサークル本部と連携・協力して、支部・地区の指導・支援体制を強化し、小規模企業の参加、活動基盤の構築につながるような働きかけを行う。
- (4) 幹事会社・会員会社の維持・拡大  
広く（含む公務）、企業・組織の会員加入・活動への参加、幹事会社の引受などを促進するために、新たな企業・組織だけでなく、既に幹事会社、会員（含む他支部・地区）となっている企業・組織の本社・他事業所、グループ企業（関係会社）への働きかけを行う。（必要に応じて本部・他支部と連携）。

### 3.『QCサークル』誌の活用・PR

『QCサークル』誌が多くの企業・組織に必要とされ、活用されるよう、大会・研修会などで有用性を紹介するとともに、より一層効果的な活用方法を工夫し、広める。引き続き、2サークルで1冊購読をめざし、現場力（職場力）の更なる向上につなげる。

### 4.時代の変化への対応

上記の主な取り組みの他、本部・支部は密接に連携・情報共有し、e-QCC提言、JHS-WG答申、「運営改革 プロジェクト」答申等に沿って、新しい時代が求めるQCサークル活動（小集団改善活動）の実現に取り組む。

## 関東支部ビジョン

### 【ミッション】

QCサークル活動（小集団改善活動）で、志・意欲を高め、企業発展に貢献する。

- 顧客は、各地区、企業のQCサークルメンバーなど

### 【ビジョン】

企業・サークル・支部・地区の目指す姿⇒QCサークルハッピー

- QCサークル活動でつながる輪・目標達成・やる気UP・企業業績UP

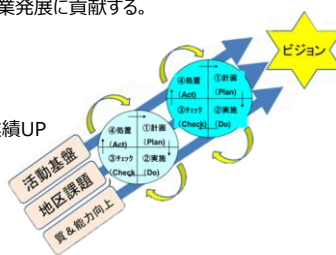
### 【バリュー】

QCサークル活動（小集団改善活動）が好きであること

- 意識の維持・心・志・向上心

### 達成度を測る<物差し>

1. 行事参加会社・事業所数と新規会社・事業所数  
※新規会社・事業所とは前年不参加の会社・事業所とする
2. 賛助会社・事業所数と幹事会社・事業所数及び幹事数



## 2025年度 QCサークル関東支部活動方針

本部方針、関東支部ビジョンの達成に向けての3本柱（活動基盤・地区課題・質&能力向上）の方策を確実に実施していく。

### 1 活動基盤 課題1：経営者層に支持される組織

- 1.1 QCサークル活動への企業経営者層の更なる理解向上（経営者フォーラムの企画・実施）
- 1.2 幹事会社・幹事への経営者層の理解・支援の向上（支部大会への参加促進：招待券発行の継続）

### 2 地区課題 課題2：地区共通の課題への対応、及び、地区固有の課題への支援

- 2.1 新たな仲間づくりの促進（本部、支部、地区の情報の共有を図り、地域の企業・組織との連携強化）
- 2.2 実働可能な幹事会社・幹事減少への対応としての、負荷削減（他支部・地区情報収集・展開、各交流会の実施による情報共有化）

### 3 質&能力向上 課題3：地区役員・幹事高齢化に伴う、若手幹事の育成・能力向上

- 3.1 地区共有の課題抽出と対応（QCC指導スキルの実施）

### 4 活動基盤 課題4：時代の変化への対応

- 4.1 社会やお客様の価値観の変化、ニューノーマル化、DX等を踏まえたQCサークル活動運営の改革（柔軟に対応できる体制の構築）

## 2025年度の主たる会議（概要）

会議	支部幹事会	6回開催(3/14, 5/14, 7/24, 9/11, 11/20, '26/2/5)
	支部世話人会・地区長会議	1回開催(5/26)
	支部事務局会議	1回開催(6/5,6) ※幹事、事務局交流会を同時開催
	支部企画委員会	原則として幹事会の前に開催(4/21, 7/14, 9/5, 11/10, 1/26)
	支部表彰委員会	原則として、大会開催前日に目線合わせを目的に実施。



## 2. QC サークル茨城地区活動方針

2025 年度地区スローガン：

「QC サークル活動(小集団改善活動)で小さな一歩を踏み出し、大きな自信への第一歩にしよう！」

### ・基本方針：地区内企業・組織における

- ① 個人の能力向上
- ② 働き甲斐のある職場作り
- ③ 企業の体質改善・発展に寄与を目的とし、QC サークル活動（小集団改善活動）の充実及び質的向上を図る

### ・年度方針と重点実施事項

No.	年度方針	重点実施事項	実施項目	担当
1	地区組織の強化・拡大	会員会社への支援強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 会員会社のスキル向上支援</li> <li>▪ 会員会社が参加しやすい大会や研修会の実施</li> </ul>	統括チーム 研修企画チーム 大会企画チーム
			<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 地区PR推進と勧誘活動</li> <li>▪ 地区内経営者・管理者層への積極的な情報共有と地区への加入促進</li> </ul>	統括チーム 研修企画チーム 大会企画チーム
		地区リソースに見合った運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 環境変化・世代交代に負けない地区運営の継続と発展</li> </ul>	研修企画チーム 大会企画チーム 正副事務局
2	役員・スキル向上表彰委員の	自社へ還元できるスキルの習得とレベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ QC知識やイベント運営などの幹事スキルレベルの明確化と支援</li> <li>▪ 強化ポイントを中心にしたレベルアップ施策の検討と実施</li> </ul>	統括チーム 研修企画チーム 大会企画チーム
			<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 審査スキルの高位平準化</li> <li>▪ 実践的審査機会の提供による審査・講評スキル向上の促進</li> </ul>	正副表彰委員長 役員、幹事

## Ⅳ 2025年度 行事計画

### 1. 年間行事

年月	関東支部	茨城地区			本部行事 サークル大会
		一般対象行事		地区内行事	
		大会	研修会・交流会		
3月	24年度支部総会 第1回幹事会 〈日産車体〉14(金)		<b>2025年度 総会 7(金)〈茨城県産業会館〉</b>	<b>新任幹事研修 17(月)</b>	
4月				<b>第1回幹事会・幹事研修会 15(火) 第1回表彰委員研修会 23(水)</b>	
5月	第2回幹事会 〈オンライン〉14(水) 世話人会・地区長会議 〈日産車体〉26(月)		<b>第4回初級者向けQC研修会 21(水)</b>		QCC全国大会〈札幌〉 〈札幌コンベンションセンター〉 22(木)～23(金)
6月	事務局会議&交流会 地区幹事交流会 〈日産車体〉5(木)～6(金)				第2回JHS部門QCサークル グランドチャンピオン大会 〈日経ホール〉 13(金)
7月	幹事研修会(指導スキル向上) 〈日産車体〉11(金) 第3回幹事会 〈埼玉会館〉24(木) 運営事例選抜大会 〈埼玉会館〉24(木)～25(金)	<b>第6634回夏季大会 2(水)</b>			QCC全国大会〈広島〉 〈広島国際会議場〉 10(木)～11(金)
8月				<b>第2回幹事会・幹事研修会 22(金)</b>	
9月	第4回幹事会 〈オンライン〉11(木) 経営者フォーラム 〈日産車体〉19(金)				QCC全国大会〈金沢〉 〈石川県地域産業振興センター〉 18(木)～19(金)
10月			<b>第86回リーダー養成研修会 23(木)</b>		
11月	第5回幹事会 〈オンライン〉20(木)	<b>第6679回秋季大会 20(木)</b>			第55回全日本選抜 QCサークル大会 〈日本教育会館〉 14(金)
12月				<b>第1回世話人会 12(金)</b>	QCC全国大会〈宜野湾〉 〈沖縄コンベンションセンター〉 11(木)～12(金)
1月				<b>第3回幹事会・幹事研修会 23(金)</b>	
2月	第6回幹事会 〈埼玉会館〉5(木) 改善事例チャンピオン大会・ JHS選抜大会 〈埼玉会館〉 5(木)～6(金)				QCC全国大会〈福岡〉 〈福岡国際会議場〉 19(木)～20(金)

【2026年度】

3月	26年度支部総会 第1回幹事会 〈日立アステモ〉13(金)		<b>2026年度総会 6(金)</b>		
----	-------------------------------------	--	--------------------------	--	--

## 2. 各行事のご案内 ※状況により日程や開催方法の変更、行事を中止する場合がございます

### 【 研 修 会 関 係 】

初級者向けQC研修会		参加費：会員 9,000円(非会員 9,500円)
第4回 初級者向けQC研修会	とき：2025年5月21日（水）	ところ：水戸市民会館 大会議室
	担当：QCサークル茨城地区 研修企画チームおよび実行委員	
<p>初級者向け QC 研修会では、QC サークル活動を初めて学ぶメンバーや経験が浅い方に向けて、QC サークル活動の基本や改善の手順(問題解決型)の講座を提供することで、各企業・組織の QC サークル活動の底上げを目指します。</p> <p>概要としては、QC サークル活動(小集団改善活動)が必要とされる理由や、改善(問題解決)の手順を解説する基本講座、『各種ゲーム体験』『データの取り方とまとめ方』『QC 7 つ道具の作成方法』など、座学と演習を織り交ぜたプログラムとなっており、QC のスキルアップをサポートする研修内容となっております。</p> <p>ぜひ本研修会をご活用いただき、メンバーのスキルアップ、QC サークル活動の活性化に向けたボトムアップにお役立てください。</p> <p style="text-align: center;"><b>【研修会の期待効果】</b></p> <p>(1)QC サークル活動（小集団改善活動）の基本的な改善の進め方の基本を知ることができる。</p> <p>(2)問題解決型 QC ストーリーの各ステップの重要なポイントを講師より解説してもらうことで、            自社・自組織・自サークルの活動に参画するための基本的な知識を身に着けることができる。</p> <p>(3)多くのサークルで活用されている問題解決型 QC ストーリー、及び QC7 つ道具の実用例の解説により、            具体的な活動の進め方を学ぶことができる。</p>		
QCサークルリーダー養成研修会		参加費：会員 9,000円(非会員 9,500円)
第86回秋季 リーダー養成研修会	とき：2025年10月23日（木）	ところ：水戸市民会館 大会議室
	担当：QCサークル茨城地区 研修企画チームおよび実行委員	
<p>リーダー養成研修会では、現在活動の核となっているリーダーや、明日のリーダーとなる方々を対象に、講義やグループワークによる体験学習を実施することにより、サークル活動の運営方法や問題解決の基礎を学び、個人の能力向上をサポートします。また、他企業・異業種の方々との交流があることで、知見拡大・相互研鑽に繋がります。研修で得られた知識・技能の活用方法は様々且つ自由ですので、参加者の QC サークル活動に関する知識・技能レベルは一切問いません。</p> <p>過去の宿泊型研修をリニューアルした一日集合型で参加しやすい研修コースとなりますので、ぜひ積極的にご活用いただき、個人のスキルアップはもちろんのこと、この研修会で学んだことを企業・組織内への展開にお役立てください。</p> <p style="text-align: center;"><b>【研修会の期待効果】</b></p> <p>(1) QC サークル活動の目的や重要性などの基本を理解することで、活動への意欲が湧く。</p> <p>(2) リーダーとして活動をうまく進めるポイントを学び、知識・技能面でリーダーとしてのスキルアップが図れる。</p> <p>(3) 問題解決の基本的な手順や手法を学び、自社・自組織の効果的、且つ効率的な活動を推進することができる。</p> <p>(4) 経験豊富なアドバイザーとともにグループディスカッションを通して、活動を進めるうえでの日頃の悩みや問題が解消できる。</p> <p>(5) 他企業・異業種の方々との交流により、視野を広げるとともに、気付き・ベンチマーキング・相互研鑽等が可能となる。</p>		

## 【 大 会 関 係 】

<b>改善事例体験談発表大会 (年2回開催)</b>	ところ：水戸市民会館 中ホール	参加費：会員 5,500円(非会員 6,000円)
第6634回夏季大会	とき：2025年 7月 2(水)	担当：QCサークル茨城地区 大会企画チームおよび実行委員
第6679回秋季大会	とき：2025年11月20(木)	
<p>こちらの発表大会は、主に茨城県内の様々な業種の企業・組織の代表による改善事例の活動報告会となっており、聴講者の方は、他サークルの職場の問題や課題をテーマとした活動事例を聴講することで、自職場での問題・課題の解決方法や活動成果のまとめ方等を学ぶことができ、自サークルのレベルアップに繋げることができます。</p> <p>発表サークルとして参加される方は、活動の成果を人に伝える(発表する)ために分かりやすくまとめる力を身に付けられる他、多くの聴講者に向けて発表することで名誉と喜び、達成感を得てもらい、次の活動への新たなる動機づけに繋がります。</p> <p>大会には発表する側にも、聴講する側にも多くのメリットがあります。</p> <p>サークルメンバーだけでなく、企業の経営者、管理者、推進事務局など、QCサークル活動に関わる方全員の学びの場となりますので、ぜひ発表大会に参加され、貴社のQCサークル活動(小集団改善活動)の活性化にお役立てください。</p> <p style="text-align: center;"><b>【発表大会のメリット】</b></p> <p>1. 発表を行う人にとっては</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自分たちが行なった活動をわかりやすくまとめ、更に人に伝える(発表する)力が身に付く。</li> <li>(2) 活動の努力と成果を多くの人に知ってもらい、発表の名誉と喜びを感じることができる。</li> <li>(3) 発表、討論を通じて相互啓発し、知識と視野を広め、次の活動への意欲を高めることができる。</li> </ul> <p>2. 発表を聞く人にとっては</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 他サークルの「活性化された運営方法」や、「効果的なテーマ解決の方法」など、良いところを学び取ることができる。</li> <li>(2) 自分たちが悩んでいるテーマに対して、解決のヒントが得られる。</li> <li>(3) 自分たち以外の仕事を理解することによって視野を広げ、次の活動への意欲を高めることができる。</li> </ul>		

## 【 その他：(2026年度行事) 】

<b>2026年度 総会</b>	とき：2026年3月6日(金)	ところ：未定
参加費：未定	担当会社：株式会社日立製作所 大みか事業所	
<p>「総会」では、QCサークル茨城地区に属する幹事・会員会社の代表の方々にお集まりいただき、2025年度の活動実績の報告及び反省を踏まえ、2026年度の地区方針・行事計画、及び予算を審議・決定する重要な位置付けにあります。地区の活動を知り、そして評価するためにもご出席いただきまして、建設的な審議をお願いいたします。</p>		

## QCサークル茨城地区 会報第47号

発行年月日	2025年 3月31日
発行	QCサークル関東支部 茨城地区
発行責任者	石橋 和弥
編集担当	QCサークル茨城地区 会報編集委員会

本会報の全部、または一部の複写・複製・転載を禁じます。  
これらの承諾については、QCサークル茨城地区までご照会ください。

QCサークル茨城地区ホームページアドレス  
<https://qc-members.jp/kanto/ibaraki>